

○事業所名	児童発達支援事業所ぶりんぐ音更		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様にわかりやすいように、生活空間が構造化されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ TEACCHの理論に基づき、視覚支援を重視しております。身支度やおもちゃの片付け場所等、写真や絵カードを活用してお子様によりわかりやすい環境を整えています。 ・ 課題に集中して取り組めるよう、学習室には不要な掲示物などは置かず、刺激を調整しています。 ・ 部屋によって活動内容を区別しており、お子様が混乱することのないように配慮しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子様の年齢や状態像によっては、あえて注意が逸れそうなものを配置し、それらに意識を向けないようにしながら課題に取り組む練習を行います。日常生活において環境調整が難しい場面でも、本人が刺激に反応してしまわないようスタッフの声掛け等で促します。
2	お子様について理解を深め、事業所全体でお子様や保護者様に寄り添った支援を提供している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子様の療育時には、所長と保護者様とで面談を行い、日常生活の困りごとに関して相談に乗ります。 ・ 事業所内でのお子様と担当スタッフとのやり取りを通して、お子様に効果的な言葉掛けや関わり方を見極めます。お子様により伝わりやすい言葉を選んで対応する事で、共感的な寄り添った関わりを心掛けます。 ・ 定期的に知能検査を実施し、お子様の特性、得意なことや苦手なことについて検査結果を基にご説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者様がお子様の療育を見学する機会をより一層充実させ、事業所内でのスタッフの関わり方を実際に見ていただき、ABAに基づく関わり方とはどういったものなのか、より理解を深めてもらいます。 ・ 保護者様の意向を確認し、必要に応じて知能検査の結果を各関係機関に共有して、お子様の状態像について共通理解を図ります。
3	保護者様と事業所間において、お子様についての情報共有の機会を充実させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子様の療育時には、毎回児童発達支援管理責任者(所長)と保護者様との面談時間を設けております。定期的にお子様の状態像や最近の様子を確認し、適宜問題解決に向けた助言を行っております。 ・ 療育終了時には、担当スタッフから保護者様へその日の活動内容の報告を行います。必要に応じて家庭で実践できる取り組みや声掛け等、アドバイスさせていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者様の意向を確認し、必要に応じて面談内容やお子様の情報を関係機関と共有します。学校や相談支援センター、他事業所との情報交換を密にし、お子様に関わる各関係機関で一貫した対応をとれるよう心がけます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会、ご家族様で参加できる研修会など、保護者様への情報提供の機会を設定していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 療育の曜日と時間が固定されており、保護者様同士が広く知り合う機会は少ないように思います。 ・ 療育時にお子様をお連れいただいた保護者様と所長との面談、担当スタッフからの療育内容報告を行っているため、複数のご家族様への研修会等は企画しておりませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者様の希望を確認しつつ、父母の会や保護者会などの実施を検討いたします。
2	ホームページやSNS等での情報発信の頻度が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3カ月に一度の頻度でお便りを発行し、ホームページにて掲載・手渡しにて配布しております。必要に応じてお便りとは別に、感染症対策についてのご案内なども周知いたしました。 ・ SNSは未開設のため、常日頃からの情報発信は行っておりませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お便りの発行頻度、SNSの開設を改めて検討いたします。
3	事故防止マニュアル等の周知が弱い。また、事故発生時の流れの説明が甘い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアル等は作成済みですが、保護者様への周知を徹底できておりませんでした。 ・ 毎回療育には保護者様同伴でお越しいただいており、事故発生時にも速やかにご報告が可能です。そのため事故発生時の対応について力を入れてご説明する機会は少なかったように思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度はマニュアル等の周知を徹底いたします。 ・ 改めて、万が一事故や緊急事態が起きた場合の対応についてご説明させていただきます。また、避難訓練や防犯訓練等の実施報告にも力を入れて取り組みます。